

2018年4月2日(月)

神奈川新聞 教育面掲載

ザ・チャレンジ

ザ・チャレンジ

(大学受験編)

4月になりました。学年も変わり気分を一新して勉強に取り組もうと思っている人も多いと思います。そこで今回は、いよいよ受験学年となった高3生と高1、2生の学習アドバイスをしたいと思います。

受験学年を迎えた高3生がこの4月に取り組むべきことは、おのおの違ってくると思います。今まで受験勉強を積み重ねてきた人もいれば、これから本格的に受験勉強を開始する人もいるでしょう。そこでまず何をしなければならないかということ、「早期に基礎を固める」ことです。例えば英語においては、単語や文法などの基礎ができていない人は、早期に取り掛かりましょう。短期間で全てを完璧に覚えることができれば理想的ですが、勉強はそんなに甘くありません。勉強を進める上でのコツは、自分が理解していることと理解していないことを分別することです。理解していないことは何度も繰り返し学習しましょう。結果は

Q. 4月に取り組むべき勉強は？

それほど早くは出ないかもしれませんが、まだ理解していないことを繰り返すことで、効率的に勉強を進めることができます。

高1、2生は「正しい勉強の型」を早期に身に付けましょう。勉強の型とは各教科で異なる部分もありますが、共通することは「基礎を押さえ丸暗記ではなく理解し、徹底する」ことです。例えば、英語の単語は全ての基礎となります。特に高1生は、中学までの英語の勉強の延長と思って漠然と学習をしていると、英語ができなくなってしまうことがあります。高校英語は単語力で前半勝負が決まってしまうので、意識を変えていきましょう。英語と日本語を対で覚えるだけでなく、語源や成り立ちを知る学習に変えると知識が増え、単語の推測などもできるようになるのでお勧めです。

さらに、2021年の大学入試の大改革の一つ「英語の4技能化」においては、スピー

キングやライティングに注目しがちです。しかしそれだけではなく、リーディングやリスニングも重要になります。文章を正しく読解し、音声を聴きながらその文を何度も音読する学習を習慣づけましょう。文の構文などの知識が身に付き、スピーキングやライティングで必要になる基礎も身に付けられるので、4技能対策に有効です。

学年の初めに良いスタートが切れれば、そのまま順調に学習が進んでいくことでしょう。ぜひ新学年にいま一度、自分の学習を見直し、良いスタートダッシュを切りましょう。

(CG高等館 東進衛星予備校)

※幼児教育から各段階の進学対応まで、多様な学び、の情報を紹介。次回は小学校編。



大学進学情報紙「TOSHIN TIMES」
CG高等館 東進衛星予備校各校舎で無料配布中

A. まず基礎を固めることから